

◎ 次の問いに答えましょう。

(1) 世界における日本の位置や地形、気候を説明する次の文の空欄①～⑤にあてはまる適語を答えましょう。

日本列島は、北海道から九州にかけて中央部に背骨のように山脈が連なっている。代表的な山脈が東北地方を東西に分ける(①)山脈である。日本の気候帯は東京に代表されるように、主に(②)に属しているが、山脈や夏と冬で吹く方向が逆になる(③)、緯度等の影響で様々な特色ある気候が見られる。例えば北海道は冬が長く寒さが厳しい。また、沖縄などの南西諸島は夏が長く冬も暖かい。北海道を除き6月ごろ前線が停滞し(④)となり、雨が多い。また、夏から秋にかけて(⑤)が多く、農作物に大きな被害の出ることもある。

(2) 日本の産業について以下の問いに答えましょう。

- ① 関東地方の南部から九州地方の北部にかけての海岸沿いに工業地帯や工業地域の広がりを何と呼ぶでしょう。
- ② 47都道府県すべてで生産され、生産量の1位が新潟県、2位が北海道、3位が秋田県の農作物は何でしょう。
- ③ 工場で作られた製品や漁港に水揚げされた魚、水田や畑でとれた農作物を消費者に運ぶため、交通網が整備されていますが、そのうち東京と名古屋を結ぶ高速道路を何と呼ぶでしょう。

(3) 資源・エネルギーについて説明する次の文の空欄①・②にあてはまる適語を答えましょう。

エネルギー自給率の低い日本では、資源量に限りがあり、環境汚染の原因となったり、温室効果ガスを発生し(①)の原因になったりする石油や石炭などの鉱産資源の使用を見直し、太陽光や風力、地熱などのエネルギーを利用する取り組みが行われている。この太陽光や風力、地熱などのエネルギーのことを(②)エネルギーという。

解答欄

(1)	①		②		③	
	④		⑤			
(2)	①		②		③	高速道路
(3)	①		②			

◎ 次の資料を見て、以下の問いに答えましょう。

【資料1】

() の収穫量の順位(2023年)

順位	都道府県名	収穫量(t)
1	青森県	374,400
2	長野県	106,900
3	岩手県	31,600
	:	
	千葉県	0
合計	全 国	603,800

「作物統計調査」(農林水産省)を基に作成

【資料2】

() の収穫量の順位(2023年)

順位	都道府県名	収穫量(t)
1	和歌山県	143,900
2	愛媛県	111,100
3	静岡県	99,800
	:	
	千葉県	986
合計	全 国	681,600

「作物統計調査」(農林水産省)を基に作成

【資料3】

ねぎの収穫量の順位(2023年)

順位	都道府県名	収穫量(t)
1	茨城県	52,900
2	埼玉県	48,500
3	A	49300
	:	
合計	全 国	416,200

「作物統計調査」(農林水産省)を基に作成

【資料4】

落花生の収穫量の順位(2021年)

順位	都道府県名	収穫量(t)
1	A	12,500
2	茨城県	1,370
合計	全 国	14,800

「作物統計調査」(農林水産省)を基に作成

(1) 資料1と資料2は、それぞれどんな農産物の収穫量を表していますか。農産物名を書きましょう。

(2) 資料3と資料4の空欄Aには同じ都道府県が入ります。その都道府県名を書きましょう。

解答欄

(1)	資料1		資料2	
(2)				

◎ 自然災害とそれに対する取り組みについて、次の問いに答えましょう。

(1) 日本の災害について、次の文の空欄①～⑥にあてはまる適語を答えましょう。

大地の動きの活発な地域にある日本列島は、(①)が多く、各地に分布する(②)の活動も活発で噴火活動も起こる。大きな(①)が起こると、ゆれとともに、土砂くずれや地盤の(③)なども起こる。大きな(①)の震源が海底の場合は、(④)が発生することもある。2011年3月の東北地方太平洋沖地震では、沿岸部に押し寄せた10mをこえる(④)などにより、千葉県を含む広い範囲にさまざまな災害を同時に引き起こした(東日本大震災)。

また、日本は毎年のように気象災害にも見舞われる。(⑤)や(⑥)、集中豪雨(局地的大雨)などでは、洪水や土石流、土砂くずれなどの災害が起こる。(⑥)では、強風や高潮の被害も起こる。2019年9月の(⑥)では、千葉県にも南部地域を中心に大きな被害をもたらした。その他にも、干ばつによる水不足、低温による農作物に被害が出る冷害、大雪による雪害などがみられる。

(2) 災害対策について、空欄①～④にあてはまる適語を答えましょう。

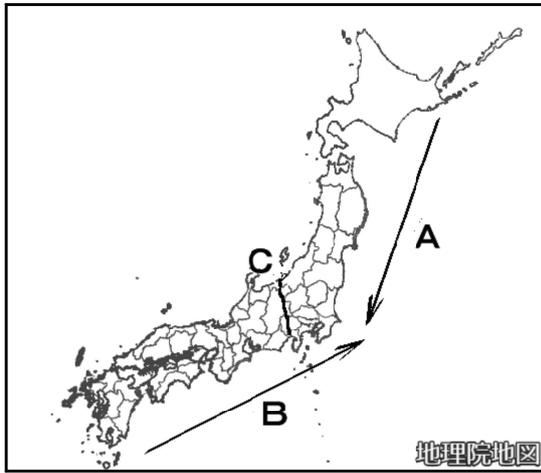
国や都道府県、市区町村では、災害時の被害を防いだり、できるだけ減らすという防災・減災の考え方のもとに防災計画を立てている。災害が起こったときの対策の一つとして、災害時の被害予測を示した地図である(①)を作成している。

自然災害から身を守るためには、国や都道府県、市区町村による被災者の救助や支援といった防災への取り組む(②)だけでなく、自分自身や家族を自分で守る(③)や、同じ地域に住む住民同士が助け合う(④)とよばれる行動が求められている。

解答欄

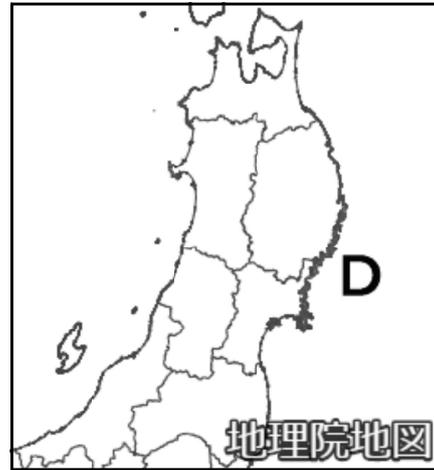
(1)	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
(2)	①					
	②		③		④	

◎ 次の地図を見て、以下について調べましょう。



【地図1】

地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成



【地図2】

地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成

- (1) 地図1のA, Bの海流名を書きましょう。
- (2) 地図1のA, Bの海流のぶつかり合う太平洋の銚子沖は世界的な漁場となっています。その理由をまとめてみましょう。
- (3) 地図1のCの糸魚川市から松本市, 甲府盆地から駿河湾にかけての地域を境に東日本ではほぼ南北方向に山脈が伸びています。この境目を何とよいかカタカナで書きましょう。
- (4) 地図2のDの海岸線は入り組んでいて複雑な地形をしています。このような海岸を何とよいますか。

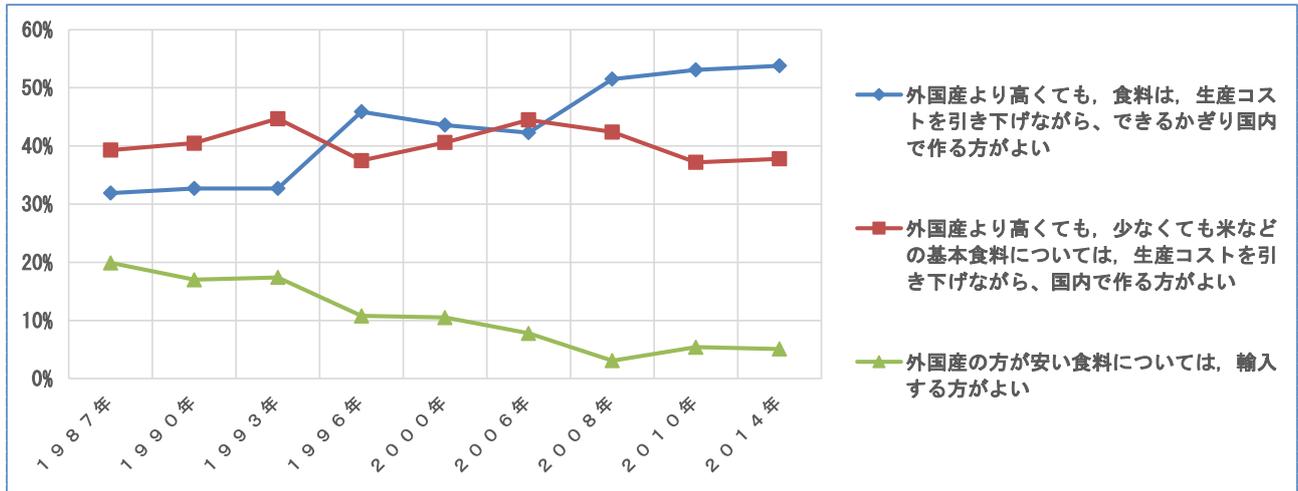
解答欄

(1)	A		B	
(2)				
(3)		(4)		

◎ 下の資料1, 2から日本の食糧自給の問題点についてわかることを()にあてはまる言葉を下の□から選んでまとめましょう。

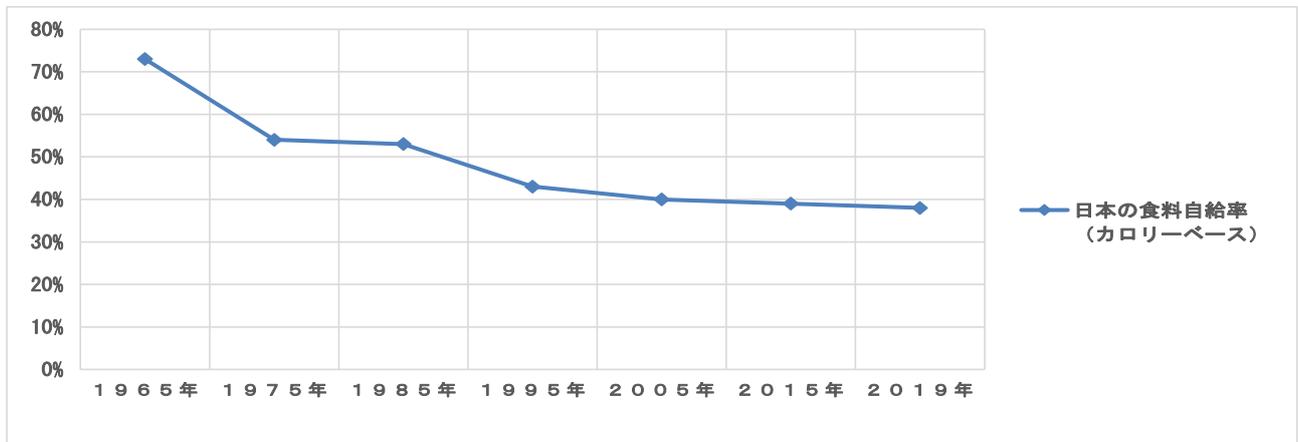
【資料1 食料の生産・供給のあり方に対する意識】

「食料の供給に関する特別世論調査」(内閣府)をもとに作成



【資料2 日本の食料自給率の推移】

「食料需給表」(農林水産省)をもとに作成



日本の(ア)は年々低下しているが、国民の意識としては外国産より高くとも、生産コストを(イ)ながら(ウ)と考えている人が増加している。

食料自給率	食料生産率	引き下げ	引き上げ	据え置き
国内で作る方がよい	輸入する方がよい	輸出する方がよい		

解答欄

ア		イ		ウ	
---	--	---	--	---	--

地理2 第1章 日本の様々な地域 (1) 日本の地域的特色と地域区分 ①

- 【解答】 (1) ①奥羽 ②温帯 ③季節風(モンスーン) ④梅雨 ⑤台風
(2) ①太平洋ベルト ②米 ③東名 (新東名も可)
(3) ①地球温暖化 ②再生可能

【解説】○ 奥羽山脈以外にも日本アルプスを構成する飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈等の主な山脈や山地、関東平野等の主な平野、信濃川、利根川などの主な河川の名称と位置を地図帳を見て確認しておきましょう。

日本の気候は全体的には温帯に属し、北海道は冷帯の気候、沖縄等の南西の島々は亜熱帯の気候の特色が見られます。季節により吹く向きが変わる風を季節風(モンスーン)と呼び、日本付近では、夏に南東から、冬は北西から吹きます。また、一年中西から吹く風を偏西風と呼びます。天気が西から東に移り変わることが多いのは、偏西風の存在が大きいのです。

地理2 第1章 日本の様々な地域 (1) 日本の地域的特色と地域区分 ②

- 【解答】 (1) 資料1 りんご 資料2 みかん
(2) 千葉県

【解説】○ 資料1は、その農作物のとれる県の位置が全て涼しい地方で、涼しい気候に適した農作物であることが、逆に資料2は暖かい気候で作られている農作物であることがわかります。

資料4は千葉県が1位の生産量を誇る農作物であり、これ以外に千葉県の生産量が1位の農作物には、マッシュルーム(2018年度)、だいこん、かぶ、みつば、さやいんげん、日本なし(2022年度)等があります。

地理2 第1章 日本の様々な地域 (1) 日本の地域的特色と地域区分 ③

- 【解答】 (1) ①地震 ②火山 ③液状化 ④津波 ⑤梅雨 ⑥台風
(2) ①ハザードマップ(防災マップ) ②公助 ③自助 ④共助

地理2 第1章 日本の様々な地域 (1) 日本の地域的特色と地域区分 ④

- 【解答】 (1) A 千島海流(親潮) B 日本海流(黒潮)
(2) 黒潮(日本海流)と親潮(千島海流)とがぶつかる潮境がありプランクトンが多く魚が集まりやすいため。
(3) フォッサマグナ
(4) リアス海岸

地理2 第1章 日本の様々な地域 (1) 日本の地域的特色と地域区分 ⑤

【解答】 日本の(ア 食料自給率)は年々低下しているが国民の意識としては多少高くとも、生産コストを(イ 引き下げ)ながら(ウ 国内で食料を作る方がよい)と考えている人が増加している。